ウォッチガード、安全かつ高性能なWi-Fiアクセスを実現するクラウド管理対応の屋外専用新アクセスポイント「AP322」を発表

2017年4月27日（木）

ー企業向け統合型セキュリティプラットフォームのグローバルリーダであるWatchGuard（R）Technologiesの日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長執行役員
根岸正人、以下ウォッチガード）は、クラウド対応で屋外専用の高性能アクセスポイント「AP322」を発表しました。AP322は、IP67（防塵防水規格）に準拠しており、3x3
MIMOおよび802.11acをサポートしています。また、ウォッチガードのWi-Fi
Cloudの特長を生かし、競技場、学校、屋外カフェやショッピングモール、ホテルのプール施設などでの利用に適しています。AP322がラインナップに加わったことにより、強力なクラウド対応のセキュリティソリューションと連携した、シンプルでスケーラビリティに優れたウォッチガードのアクセスポイントをあらゆる環境で活用できるようになりました。

ウォッチガードのセキュアWi-Fiソリューション担当ディレクタであるRyan
Orsi（ライアン・オルシ）は、次のように述べています。「Wi-Fi
Cloudでは、特許取得済みのWIPS（Wireless Intrusion Prevention
System：ワイヤレス不正侵入防止システム）ソリューション、マーケティングツール、そしてロケーションベースアナリティクスを含む包括的な諸機能を適正価格にてご提供しています。今回AP322が加わったことにより、過酷な屋外環境でも安全かつ高性能なネットワークの利用が可能になりました。屋内外で安全なWi-
Fiネットワークをシンプルに導入・管理したい組織にとって最適な、コスト効果の高い総合パッケージソリューションが実現しました。」

ウォッチガードのAP322では、5GHzおよび2.4GHz対応のデュアルバンド同時接続機能を提供しており、それぞれ最大1.3Gbps、450Mbpsの速度を実現しています。高速接続により、ダウンロードのスピードがより速くなり、より応答が早くストレスの無いインターネットパフォーマンスが実現

されます。また、無線ごとの3つの空間ストリーム（3x3
MIMO）により、大規模なユーザグループの同時アクセスに対応できる帯域幅とパフォーマンスも提供しています。さらに、2つのギガビットイーサネットポートを備えているため、APを追加してサービスを拡張することが可能であり、PoE+のサポートにより、柔軟かつ容易なインストールも実現しています。

米国テキサス州のSIerである AlamoTG,
LLCのマネージングパートナー、ウィリアム・ブラウン（William
Brown）氏は、以下のようにコメントしています。「Wi-
Fiサービスをお客様にご提供する際に最も大きな課題となるのが、各種のベンダ製品の複雑な管理であり、管理するのに大きな手間がかかります。ウォッチガードのWi-Fi
Cloudはこうした複雑な仕組みを排除し、高性能Wi-
Fiを安全に管理するために必要となる分析ツールを網羅した一元的なクラウド対応ソリューションを提供しています。他のウォッチガード製品同様、AP322は顧客のニーズをくみ取った製品であり、Wi-
Fiデリバリのプロセスをさらに効率化し、屋外環境においてもウォッチガードの備える豊富な機能を利用することができます。私たちはすでにこの新しいアクセスポイントをクライアント環境に展開しており、初期のパフォーマンステストでは素晴らしい結果が出ています。」

ウォッチガードのWi-Fi Cloudは、セキュアかつスケーラブルで豊富な機能を備えたWi-
Fi管理プラットフォームです。ウォッチガードのアクセスポイントと連携させることにより、強力なWIPSセキュリティ、きめ細かなゲストおよび無線環境の分析、そして貴重なマーケティング並びにゲストのエンゲージメントツールを提供します。また、Wi-Fi
Cloudは容易な実装と管理を前提に構築されており、Wi-
Fi管理の最も複雑な部分もシンプルにし、あらゆる規模の組織を対象に、高速、安全、かつインテリジェントなWi-Fiアクセスを実現します。

（ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 社長執行役員 根岸正人）
「今回のAP322の発表は、ウォッチガードのミッションである、一元的かつシンプルな管理運用の実現とともに、お客様が安全に高速ネットワークを利用できるように支援することの一環であり、その適用領域を屋外にまで拡張することで、さらにシームレスなネットワークセキュリティソリューションが実現しました。また、競技場、ショッピングモール、物流倉庫等での活用や、総務省の推進するWi-
Fi整備計画の対象となる学校、自治体施設、公園等の防災拠点での屋外利用にもご活用いただく事が可能です。」

ウォッチガードのアクセスポイントおよびAP322に関する詳細は、
https://www.watchguard.co.jp/products/wireless-security-hardware/ap120-ap320
をご覧下さい。

ウォッチガードのWi-Fi Cloudの詳細は、https://www.watchguard.co.jp/products/management-and-visibility/cloud-managed をご覧下さい。

【WatchGuard Technologiesについて】
WatchGuard (R)
Technologiesは、業界標準ハードウェア、ベストオブブリードセキュリティ、ポリシーベースの管理ツールを独自アーキテクチャにより統合したビジネスセキュリティソリューションを提供す

るグローバルリーダとして、全世界の企業にエンタープライズクラスのセキュリティソリューションを提供しています。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地区、中南米に支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多くのパートナーを通じて、アプライアンス製品、ネットワークからエンドポイントまでの脅威検知とセキュリティの「可視化」、セキュリティとネットワークの「運用管理」など拡大するニーズへのソリューションを提供しています。詳細は
http://www.watchguard.co.jp をご覧下さい。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向はfacebook（@WatchGuardJP）、LinkedIn Companyページをフォローして下さい。また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法はSecplicityJP https://www.watchguard.co.jp/security-newsをご確認下さい。

WatchGuardは、WatchGuard Technologies,
Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒106-0041
東京都港区麻布台1-11-9 CR神谷町ビル5階
マーケティング担当：角田・堀江
Tel： 03-5797-7205
Fax： 03-5797-7207
Email： jpnsales@watchguard.com
URL： http://www.watchguard.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com